

巻頭言

「現代医学」誌第70巻の刊行にあたって



公益社団法人愛知県医師会 会長 柵木 充明

昭和25年11月に創刊した「現代医学」誌は、初刊から今日までの73年にわたり発行を続け、今回第70巻という節目を迎えることができました。

これまで刊行を続けることができましたのは、創刊より会員の先生方を始めとする多数の読者の皆様のご支持と、昭和から令和の時代に至るまで、本地方を中心としてご活躍をされてきた多くの先生方によるご執筆の賜であり、この場をお借りして感謝申し上げます。

医学という分野は常に発展を遂げておりますが、本誌もその例外ではなく、この10年で大きな転換期を迎えることとなりました。平成26年発行の第62巻2号より、従来の冊子体での刊行を取りやめ、本会会員のみが閲覧できるオンラインジャーナルとして発行することとなり、令和2年発行の第67巻2号からは、インターネット環境があればどなたでも閲覧いただけるオープンジャーナルに形態を転換し、以降、愛知県医師会ホームページにて広く内容を公開しております。

オープンジャーナル化以降、本誌へのアクセス数は年々増加を続けております。このことは、現代における幅広い分野からの知見や、関心の高いトピックスを取り上げる本誌の編集方針が、医療分野に携わっておられる読者の皆様の需要に応えるものであるからと考えております。

本誌は「座談会」、「特集」、「臨床トピックス」、「グラフ」、「オピニオン」の5つのカテゴリで構成されておりますが、今号でも特集を始めとする各カテゴリにおいて、多くの先生方に興味深い論文をご寄稿いただき、また、今年5月12日に開催された座談会「在宅医療の現状と今後の展望 一かかりつけ医が在宅医療を担うのかー」の内容を収録しております。

これからも本誌が、学術専門団体である愛知県医師会が発行する医学専門雑誌として、読者の皆様に引き続きご支持をいただけるよう、発行者並びに編集者一同取り組んでまいります。

文末にあたりまして、読者の皆様と、著者を始めとする関係者の皆様に深く御礼を申し上げ、刊行のことばとさせていただきます。